

おおくらだより



令和6年8月26日

(文責) 北九州市立大蔵小学校

校長 増田 知夏子

【学校教育目標】

「心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた自主的で実行力のある児童」の育成

夏にたくわえた力を発揮しよう！

夏休みはどう過ごしましたか。有意義に過ごせたでしょうか。ゆっくりと過ごせた人もいるでしょうし、計画的に宿題や自主学習をすすめた人もいるでしょう。中には、スポーツや習い事に力を注いだ人もいるでしょう。非常に暑かった今年の夏ですが、それぞれに実りがあったことと思います。

2学期は、大蔵川クリーン作戦、宿泊行事（5・6年生）、社会科見学、車椅子バスケットボール大会（5年生）、合同スポーツ大会（若竹学級）などの行事があります。日頃の授業で学習したことを、体験を通して深く学び、身につけていきます。水泳学習も始まります。苦手なことに直面することもあるでしょうが、先生やお友だちの力を借りて、果敢に挑戦してください。失敗は成功のもと、と言いますが、失敗したほうが後々の力になることが多いように感じます。挑戦するみなさんの姿を楽しみにしています。

第17回「大蔵ウェルクラブ」活動報告

4年生から6年生を対象に参加者を募ったところ、5名の児童の参加がありました。今年度は5年ぶりの開催となったそうです。この活動は、校区（地区）の社会福祉協議会が主体の「ふくし教育」のひとつです。「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせ、の実現に向けてみんなで考え、学ぶことを目的としています。

夏休み期間中の4回の活動には、八幡東区ボランティアまつりに参加し、高齢の方から手話を習ったり、折り紙や点字を習ったりしました。疑似体験・車椅子体験では、視野がせまくなる眼鏡をかけ、膝が曲がらないサポーターをつけ、ポケットに重りを入れ、高齢者がどんな風に歩いているのかを実体験し、車椅子を押す練習もしました。段差があるところを押すことがとっても難しかったとのこと。また、ふれあい昼食会ではカレーライスやデザートをごちそうになりながら、お年寄りとの会話を楽しみ、交流を深めました。最後の発表会ではこれまでに学んだことをステージの前で一人ずつが発表しました。福祉について体験を通して学ぶ機会は限られているので、このような活動に参加し、考える時間は必要だと改めて思いました。相手を思いやる心をもつことや、だれとでも積極的にコミュニケーションをとることによって誰もが幸せに暮らせる社会を作っていくことは大切です。大蔵の子どもたちが優しさをもって育つことを願っています。

☆夏の高校野球、ご覧になりましたか？！熱中する人の姿って、見ている人の心を動かしますよね。

毎年のごとですが、ついつい親目線で見ちゃって、今年の夏も例にもれず、涙、涙となりました。